

みずほCustomer Desk Report 2025/01/31号(As of 2025/01/30)

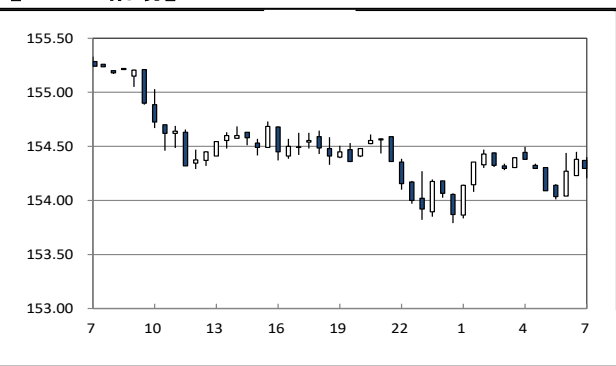
【昨日の市況概要】				公示仲値	154.83
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	155.21	1.0425	161.56	1.2458	0.6239
SYD-NY High	155.26	1.0468	161.79	1.2477	0.6242
SYD-NY Low	153.79	1.0387	160.22	1.2412	0.6199
NY 5:00 PM	154.30	1.0393	160.23	1.2417	0.6209
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,882.13	168.61	日本2年債	0.7100%	0.0200%
NASDAQ	19,681.75	49.43	日本10年債	1.2100%	0.0200%
S&P	6,071.17	31.86	米国2年債	4.2125%	▲0.0062%
日経平均	39,513.97	99.19	米国5年債	4.3228%	▲0.0141%
TOPIX	2,781.93	6.34	米国10年債	4.5193%	▲0.0141%
シゴ`日経先物	39,630.00	315.00	独10年債	2.5170%	▲0.0540%
ロンドンFT	8,646.88	89.07	英10年債	4.5595%	▲0.0475%
DAX	21,727.20	89.67	豪10年債	4.3980%	0.0340%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.75%	0.36%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.89%	0.32%
NY金	2,748.70	▲ 2.20	USDJPY 6M Vol	9.85%	0.26%
WTI	72.73	0.11	USDJPY 1M 25RR	▲1.44%	Yen Call Over
CRB指数	306.39	▲ 1.19	EURJPY 3M Vol	10.02%	0.30%
ドルインデックス	107.80	▲ 0.20	EURJPY 6M Vol	10.00%	0.22%

東京	東京時間のドル円は155.21レベルでオープン。日銀氷見野副総裁の講演を午後に控え、効派的な発言を警戒した円買いフローにより、154.29まで下落。その後は154円台半ばで推移し、154.69レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.69レベルでオープン。日銀副総裁の発言を受けて円高推移。154.10まで売られ154.17レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0414レベルでオープン。ECB政策発表を午後に控えて様子見姿勢。1.0404レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台前半でスタート。月末フローに絡んだ持ち高調整の売りや、氷見野日銀副総裁の「今後も経済、物価見通しが実現すれば引き続き金融緩和の度合いを調整していく」との発言を背景に、ドル円は軟調な値動きとなり、154.17レベルでNYオープン。朝方に発表された米第4四半期GDP(速報値)が予想より減速した一方、構成項目の個人消費は予想を上回るなど強弱混合な結果となる。発表後は153.79まで下落する場面もあったが、その後は米金利の上昇を横目に反発し、154.49まで戻す。午後は154.00付近まで反落する場面もあったが、終盤にトランプ大統領が「メキシコとカナダの輸入品に対し25%の関税を賦課する」との発言を受け、米金利の上昇に伴い反発し、154.30レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。ECB理事会の結果発表を控える中、独金利の低下を受けじり安で推移し、1.0404レベルでNYオープン。朝方はECBが25bpsの利下げを発表し、主要政策金利を3.15%から2.90%に引き下げた。同時に発表された声明文では「デイスインフレの進展は順調に進んでいる」との文言が見られ、ハ派寄りの内容となるも、続いて発表された米経済指標の結果を受けたドル売り地合いから1.0468まで上昇する。その後に行われたラウル・ECB総裁の記者会見では「経済成長に対するリスクは引き続き下振れ傾向にある」等との認識を示し、その後徐々に1.0410まで下落。午後は先述のトランプ大統領の関税案に関する発言を受け、1.0387まで下落し、その後1.0393レベルでクロス。

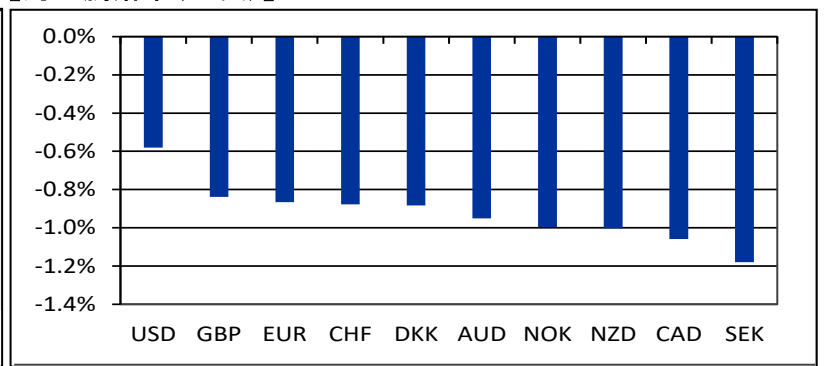
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
1月30日	18:00	独	GDP(前期比)・速報	4Q	-0.2%	-0.1%
	19:00	欧	GDP(前年比/前期比)	4Q A	0.9%/0.0%	1.0%/0.1%
	19:00	欧	失業率	12月	6.3%	6.3%
	22:15	欧	ECB預金ファシリティ・レート	30-Jan	2.75%	2.75%
	22:15	欧	ECB主要政策金利	30-Jan	2.90%	2.90%
	22:30	米	GDP(年率/前期比)	4Q A	2.3%	2.6%
	22:30	米	個人消費	4Q A	4.2%	3.2%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	25-Jan	207k	225k
	1月31日 00:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	12月	-5.5%	0.0%
【本日の予定】						
Date	Time	Event		予想	前回	
1月31日	08:30	日	失業率	12月	2.5%	2.5%
	08:30	日	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月	3.0%/2.5%/1.9%	3.1%/2.4%/1.8%
	16:00	独	小売売上高(前月比)	12月	0.0%	-0.1%
	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	1月	0.0%/1.5%	0.2%/1.3%
	22:00	独	CPI(前年比/前月比)・速報	1月	2.6%/0.1%	2.6%/0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.40-155.50	1.0340-1.0450	160.00-161.50

【マーケット・インプレッション】

ドル/円市場は相変わらず日米金利差とトランプ政権による関税政策の行方を主要テーマとしている。昨晩は米10年債利回りが4.5%割れまで低下し、ドル/円は154円割れまで売り込まれた一方で、トランプ大統領がカナダとメキシコに対する25%関税賦課を改めて表明すると154円台半ばまで買い戻された。市場参加者の多くはトランプ大統領に対して、何をするのか予測不能との評価をしており、今後もトランプ関連のニュースヘッドラインに振り回されそうである。フロー動向では、本邦の利上げに際してドル/円はさほど売り込まれなかったこともあり、本邦実需筋からはドルの下値を拾う動きが出てきていて、本日も下値をサポートしそうである。一方で、月末要因により投資家からはポートフォリオリバランスのドル調整売りが見られている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。